



日本の太鼓

グエン ティ ホン ロアン
NGUYEN THI HONG LOAN

日本に来てからもう一年になりました。実習生として岡山県で仕事をしています。初めは東京や大阪という行きたい都市ではなかったですが、住んでいる所は静かな田舎町です。でも、岡山県は桃太郎の有名な伝説の所ということが分かり、親しみを感じました。ここ田舎町で親切な人にたくさん出合いました。いろいろな人がいろんなことを教えてくれます。その人たちの中に日本の文化を教えている人がいます。私たちはその人を「お父さん」と呼んでいます。「お父さん」のおかげで、いろいろな所に行ったり、日本の文化や歴史に接したりしました。私がいちばん興味をもったのは太鼓です。

ベトナムにも太鼓はありますが、盛んではありません。ですから、「お父さん」に誘われた時、一緒に行くと言ってもほんとうは興味があまりありませんでした。でも、大きな劇場に入ると、目の前に立派な舞台があり、観客席が千席ぐらい並んであり、小さい子供からお年寄りまで観客はみんなうきうきした笑顔で待っていました。そんな雰囲気を見ていたら、自分も楽しくなり、正座をして待っていました。明かりが急に暗くなり、初めて和太鼓の音が聞こえてきました。氣勢あふれる音で、演奏の人たちのうきうきとした笑顔を見ていたら、演奏者、観客のみなさんがどのくらい太鼓を愛しているか分かりました。ほんとうに太鼓を叩くことはむずか

しいと思います。速く叩きながら長く叩き続けなければなりません。私には無理だと思いました。でもやってみたくとも思いました。やるとしたら練習を工夫しないといけません。大人のチームだけではなく、子供チームもありました。大人チームに比べられないですが、小学生の子供たちががんばって太鼓を叩き続けることは日本文化の継承につながり、素晴らしいことだと思いました。太鼓だけではなく、笛とかほかにも日本の伝統的な楽器があるのです。すべてがすてきな音になります。聞いていたら、すぐに日本の音色が分かります。いつの間にか太鼓のリズミカルな音に魅了されました。私にとって、いちばん印象に残る初めての演奏です。その演奏曲は「古里」と言っていました。石の楽器や小太鼓や笛がいっしょになり軽やかな音色を聞きながら後ろのスクリーンに「古里」の光景が浮んできました。それはベトナムと同じような田畑や山などでした。その時、私はとても懐かしくて、寂しくなりました。ちょっと泣いてしまいました。太鼓の音は太鼓から出る音だけではなくて、演奏者の叩き方により、心にしみるほどの感じがするのです。

「お父さん」のおかげで、日本の素晴らしい伝統文化である太鼓がすこし分かってきました。本当に良かったと思います。日本にいる残りの日々に日本の文化をもっと体験したいと思います。特に太鼓をやってみたくです。

国	籍	ベトナム
職	種	機械検査
実習実施機関		内山工業株式会社
監理団体		内山工業株式会社